

2008年(平成20年)6月28日(土曜日)

読

売

新

聞

## パワハラの実態DVD化

来月11日、大阪でシンポ

パワ・ハラスメント（パワハラ、職権による人権侵害）被害者へのインタビューと再現ドラマをもとに、パワハラの実態に迫った啓発用DVD



「写真」を、職場での人権問題に取り組んでいる「アトリエエム」（大阪府吹田市）が作製、販売している。

「パワ・ハラスメントそのときあなたは…」（26分。税別2万5000円）で、イ

ンタビューでは、パワハラを受けた3人が体験を語っており、営業ノルマが厳しく、帰宅後も上司から電話でしっ責を受け続けたという男性は「人間としての魂を吸い取られる気持ちになった」と振り返った。また、社長の暴言、暴力によって同僚が次々と体調不良に陥ったという女性は「自己防衛本能が働き、わざと見ないふり、聞かないふりをしていた」と話している。

一方、再現ドラマでは上司が適切な指示をせずに部下の仕事ぶりを責め、長時間に及ぶ暴言で職場のムードが悪化する様子を描いた。被害者に対して、「気にしすぎるな」「あなたにも問題があるので」「一などの言葉をかけたり、無関心でいたりすることは「二次被害」にあたる」と注意を呼びかけている。

職場でのストレスが原因で「心の病」となり、労災認定を受けた人は、2007年度には過去最多の268人いる。同社代表の三木啓子さんは「中小の企業や様々な団体もパワハラ防止に関心を持つてほしい」と話している。

また、同社は7月11日午後2時から、大阪市中央区のマイドームおおさかで「多発するパワ・ハラスメントへの対応」と題したシンポジウムを開く。参加費は企業の人事担当者らは7000円。個人の場合は要相談（06・68072・5995）。